

事務事業名		シルバー人材センター支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 生きがいづくりと社会参加の促進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	5050	一般	3	1	3	シルバー人材センター支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		義務的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	昭和58年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		一部委託			
						事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
						市長マニフェスト		2-9			

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
シルバー人材センターの適正な運営と事業の促進を目的として、運営費補助金を交付する。			佐野市シルバー人材センター運営費補助金、高齢者見守り相談室運営事業費、事務局人件費を補助金として支出し、シルバー人材センターの支援を行った。平成24年度から新たに外出支援事業を受託した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			補助金額	千円	15,613	14,193	14,186			
			就業者数	人	16,225	22,242	16,400			
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
60歳以上の高齢者 佐野市シルバー人材センターの会員			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			60歳以上の高齢者数	人	41,687	42,554	43,421			
			シルバー人材センターの会員数	人	728	669	700			
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
目的 シルバー人材センターを利用した高齢者の臨時的・短期的な就業機会を確保する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			会員数/60歳以上の高齢者数	%	1.75	1.57	1.61			
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
生きがいをもって生活してもらうとともに、多様な社会活動に参加してもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300			
			老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	15,663	14,243	14,236					
	事業費計(A)	千円	15,663	14,243	14,236	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	50	負担金	50	負担金	50		
			補助金	15,613	補助金	14,193	補助金	14,186		
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	20	20	20						
人件費計(B)	千円	78	79	79	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	15,741	14,322	14,315	0	0				

事務事業名	シルバー人材センター支援事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	----------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和58年シルバー人材センターが設立されて以来、国の補助金と同額の補助が開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口が年々増加しており、就業機会を求める高齢者も増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	市の合併に伴い3センターが1センターに合併され、補助金も段階的に減額されてきており、現在は1センター分の補助金になっている。経営が厳しい状況にあるので、市各課でシルバー人材センターに仕事を発注するよう要望が出ている。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	シルバー人材センターにおいて、新規事業に取り組むことが検討されていたが、実施には至らなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	高齢者が就業して生きがいを持つことは、積極的な社会参加を促し、政策体系に結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	就業機会の確保や技術研修などを実施するシルバー人材センターを支援することは、高齢者の健康・生きがいづくりを促進するため、妥当である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	団塊の世代が定年を迎えており、高齢者の生きがいづくりとして妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	市がシルバー人材センターを支援することにより、高齢者の自立を促し、高齢者が生きがいをもって働くことができる場の提供ができています。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	合併後の激変緩和措置がとられ国からの補助金が減額され、それに合わせて市の補助金も減らしてきたため、今以上の削減は困難である。また人件費も必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案	シルバー人材センターの運営を支援するため全体の事業の一部を補助するものであり、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
シルバー人材センターは、高齢者の雇用機会の創出、生きがいづくりの場の提供を行う団体であり、高齢者福祉の向上には不可欠である。市で支援・育成を図るべきものであり、廃止・休止はできない。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			